

# 生活道路の雨水対策について

いままでどのような具体的雨水対策を行ってきたのか？

市長 市では雨水管の未整備地区に公共下水道雨水管の布設を行い、雨水管が設置されている道路には雨水枡の増設、コンクリート蓋からグレーチング蓋への変更等を行い、生活道路部分の雨水管未設置箇所には、浸透側溝や浸透枡を設置してきた。また、日常的な管理として雨水枡が落葉やごみ等で吸い込まなくなっているところについては、それらを取り除くことにより機能の保持に努めるとともに、宅地から道路へ雨水が流出することを防ぐため、宅地内の雨水浸透施設設置について補助制度を設け、利用促進を図っている。

市で把握している雨水対策が必要な生活道路はどこか。  
また、それらの今後の計画はどのようになっているか。

市長 市内で雨水対策が必要な箇所は雨水管等の施設が未整備な道路や行き止まりの道路など。雨水管の布設が必要な道路は今後計画的に公共下水道雨水管を布設していくと共に、浸透側溝や浸透枡を設置していきたいと考えている。

玉川町の生活道路に雨水対策が必要と思われる箇所がある  
関係市民とよく相談して改善していく考えはないか。

市長 玉川地区は狭隘道路が多い地域であり、市としても雨水対策が必要であると認識している。今後降雨時に職員を派遣し、状況を調査させて対応していきたいと考えている。



生活道路の半分が雨水に浸かっている。(玉川町)

## 無料法律相談のお知らせ

11月10日(火)午前10時から  
場所は「日本共産党羽村市委  
員会」事務所です。弁護士が  
相談にあたります。予約必要

中原まさゆき 電話 554-1163

市川 えい子 電話 554-1140

鈴木 たくや 電話 080-1058-9450



2009年10月18日 955 日本共産党羽村市議団のホームページ  
発行 羽村民報編集委員会 <http://www.jcphamura.org>  
責任者 野崎 表 事務所 電話579-2132 FAX579-2106

# 公共施設の地上デジタル化への見通しは

公共施設のデジタル化へ向けての現状は？

市長 移行が完了している施設は、「ゆとろぎ」「コミュニティセンター」「栄町団地」「富士見平高齢者住宅」など7施設。残りの公共施設は平成23年度までには移行の準備を完了させていくが国の補助等財源の見とおしがつけば、計画を前倒して進める。

都営住宅はどのように移行されるのか？

市長 市内にある都営住宅について、東京都都市整備局に問い合わせたところ、「羽東一丁目アパート」「神明台三丁目アパート」とともに地上デジタル放送への対応は済んでいるとのことである。

地デジ対応のテレビを買ったが地デジを見ることが出来ない、市営住宅の市民がいる。市営住宅については早めの対応が必要と考えるがどうか？

市長 市営住宅は多摩ケーブルネットワークに加入しているのでデジタル放送は視聴できるはずであるが、調査をしたところケーブルを通して配信される地上デジタル放送のシグナルが弱いことからデジタル放送を視聴できる部屋とできない部屋があることがわかった。できるだけ早い時期にシグナルを強める増幅器を設置し、全ての部屋でデジタル放送が視聴できるよう対応する。



市営玉川住宅